

柏中学校に入学する152名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの本校への入学を、職員一同、心からお祝いします。先輩の2・3年生も皆さんをあたたく見守ってくれています。

またこのよき日に、本校PTA会長をはじめとすご来賓の皆様、新入生保護者やご家族の皆様のご臨席を賜り、ここに第80回入学式を行うことができますことに、心よりお礼申し上げます。

さて、本校に入学する新入生のみなさんにとっても、今日から始まる3年間の一日一日を、大切に、自分の心を耕し、豊かに成長していくことを、願っています。

今日は新入生の皆さんに、「人に優しくする心」についてお話をします。

皆さんは、人に優しい気持ちで接してもう嬉しそうですね。そして、自分が人に優しくして、笑顔が返ってきたら、さらに嬉しくなると思います。しかし、いつでも人に優しくすることは、簡単ではありません。悲しい時や腹が立った時、自分のことで精一杯になっているときに、「人に優しくすること」はとても難しい、ということは、誰も経験で知っています。そして、悲しい時や腹が立った時でも、言葉の使い方や顔の表情などで、精一杯落ち着いて相手と関わる事ができた時、後で、自分は頑張れたな、と振り返ったこともあると思います。

そういう時は、あなたが少しだけ、強くなれた瞬間なのです。「優しさは強さ」—私が大切にしている言葉です。

皆さんは、デジタルを使いこなし、今よりもっと便利で速くモノやコトを動かす社会を生きていきます。その一方で、与えられるだけの平和は続かないかもしれない、ということも、今、世界で起きていることを知るときに感じていると思います。

優しさという強さを、自分自身の軸として育てていくには、とても時間がかかります。しかし、これからは、与えられる平和を待つのではなく、自ら、平和を創り出していく人になってほしい、そう願っています。

このあと紹介がある本校の校歌には、「平和を願う若人の」という一節があります。自ら平和を創り出すこととは、心に優しさという橋を架け、その橋をつかって、人や世界とつながり、夢を実現していくということなのです。

柏中学校には、長く受け継がれた気品という言葉があり、それは、相手への敬意や、誰に対しても丁寧に接することができる冷静さや公平さ、誠実さという品格を心を育てるようお願いを込めて受け継がれているのだと思っています。

中学校は、心に橋を架ける力をつける練習の場所です。先生や友達、家族に相談して、そのときどきで自分の気持ちを整理する方法を使いながら、人とつながり、未来を拓く力をつけてほしいと願っています。

一人一人の練習を、柏中学校の教職員一同、全力で応援していきます。

保護者の皆様、地域の皆様、子どもたちは、この3年間、たくさん悩んだり、イライラする顔をみせたり、学校の話をしてくれなくなったりするなど、成長段階特有の変化が表れてくることもあると思いますが、共にその変化を受けとめ、育ちを支える連携ができますよう、ご協力をお願いいたします。

昭和22年の開校以来、地域とともに在り続ける柏中学校は、豊かな水を湛える豊平川を眺めながら、今年も新入生一人一人が豊かに成長していくことを期待して、わたしの式辞といたします。